統計・調査データ処理実習Ⅰ

科目ナンバリング STS-203
選択必修A 2単位

田所 承己

1. 授業の概要(ねらい)

この授業は、社会学の調査データを計量的に処理するための基礎的な知識やスキルを、パソコンを用いた実習を通して習得することを目的とします。なお授業では、エクセルの基本的な使い方から始めますので、統計が不得意でも、エクセルに慣れていなくても、受講可能です。

調査データをどのように分析して結果を導いていけばよいのか、平易に理解することを目指します。授業では、エクセルを実際に使って実践的に学んでいき、分からない事項や操作方法については学習支援を直接行い、習得度を高めることを目指します。

2. 授業の到達目標

- (1)エクセルを使って平均、分散・標準偏差、代表値を求めることができる
- (2)度数分布表とヒストグラムを作ることができる
- (3)相関係数や回帰直線を求めることができる
- (4)クロス集計表を作ることができる

3. 成績評価の方法および基準

- ・授業内課題+宿題:40%(毎回の学習事項の理解度を実習課題の提出によって評価)
- ・最終課題:60%(最終授業に実施する実習形式の最終課題の提出によって評価)

4. 教科書・参考文献

教科書

石村貞夫・劉晨・石村友二郎 『Excelでやさしく学ぶ統計解析 2019』 東京図書株式会社

5. 準備学修の内容

授業で学んだことの習得度を高めるために宿題として教科書の応用問題を課すことがあります。その際には、授業内容と教科書を参考にして次週までに取り組んで下さい。

6. その他履修上の注意事項

・この科目は教室設備や実習指導体制等の関係で履修定員があります。定員を越えた場合は抽選等を行いますので留意してください。

・この授業は実習形式をとるため、対面授業となる点に留意してください。

・準備学習等のため、自宅等でエクセルを使用できる環境があることが望ましいです。

7. 授業内容

【第1回】	オリエンテーション
【第2回】	表の作成
【第3回】	グラフの作成
【第4回】	データの検索
【第5回】	1変数のグラフ表現(棒・円・折れ線グラフ)
【第6回】	1変数の統計量(平均・分散)
【第7回】	代表値
【第8回】	度数分布表とヒストグラム
【第9回】	時系列データと予測
【第10回】	相関係数と散布図
【第11回】	相関係数と回帰分析
【第12回】	クロス集計
【第13回】	前半のまとめ
【第14回】	後半のまとめ
【第15回】	最終課題